

# Game Report

開催場所：九州国際大学 平野記念館

試合区分：第 23 回全九州大学バスケットボールリーグ戦 男子 1 部

試合期日：2016 年 10 月 1 日 (土)

試合時間：18:20~

主審：山崎 誠二

副審：砂川 卓嗣

東海大学九州	○ 8 4	29	—1st—	14	● 7 3	九州共立大学
		8	—2nd—	19		
		23	—3rd—	16		
		24	—4th—	24		

## 第 1 ピリオド

東海大 #7 林の 3 P シュートで幕を開けるが、すかさず九共大 #2 河井が決め返す。両チーム得点を重ねるが、東海大が一步リードで試合は進む。九共大 #9 小田を中心に得点するが、東海大は #5 北原のジャンプシュートや、#21 谷里の 3 P シュートでリードを広げる。残り 1 : 48、東海大 #2 長野が 3 P シュートを決め、点差を 12 点に広げると、九共大はタイムアウトを請求。タイムアウト後も波に乗る東海大はリバウンドからのブレイクで九共大に付け入る隙を与えない。九共大 #10 片峯がシュートを決め、29-14、東海大のリードで第 1 ピリオド終了。

## 第 2 ピリオド

九共大 #1 久保田のレイアップシュートで始まった第 2 ピリオド。その後も九共大 #2 金城、#11 久保田がシュートを決める。ミスが続き、なかなか流れを掴めない東海大。中盤、九共大 #7 持橋が連続 3 P シュートを決め、波に乗る。さらに #22 河井のバスケットカウントで 2 点差に迫るも、東海大 #8 佐竹、#6 小澤がジャンプシュートを決め、逆転を許さない。残り 2 : 29、九共大はタイムアウトを請求。その後、両チーム果敢に攻めるが、得点につながらない。九共大 #22 河井のブザービーターで、4 点差に迫り、37-33 で第 2 ピリオド終了。

## 第 3 ピリオド

九共大 #9 小田の華麗なアシストに #10 片峯が合わせるプレイで始まった第 3 ピリオド。それに対し、東海大 #6 小澤が落ち着いて 3 P シュートを決め返す。その後も東海大は #7 林、#6 小澤シュートでリードを徐々に広げる。終盤に入っても流れは変わらず、#2 長野の連続 3 P シュートで更に点差を広げる。残り 3 : 30、九共大はタイムアウトを請求。タイムアウト後、九共大 #11 久保田、#7 持橋の 3 P シュートで得点を重ねる。終了間際、#11 久保田の連続得点でスコアを 60-49 とし、第 3 ピリオド終了。

## 第 4 ピリオド

九共大 #7 持橋のシュートで始まった最終ピリオド。九共大 #22 河井、#2 金城のシュートで 2 点差に迫るも、東海大 #7 林の連続得点で追従を許さない。流れを変えたい九共大は残り 6 : 12、タイムアウトを請求。タイムアウト直後、東海大 #7 林がバスケットカウントを決めるが、九共大 #2 金城が 3 P シュートを決め返す。その後は東海大 #23 趙、#2 長野が 3 P シュートを決め、リードを広げる。残り 3 : 03、九共大はタイムアウトを請求。その後、九共大 #11 久保田が 3 P シュート、ジャンプシュートを決めるも点差を縮めることが出来ず。84-73 で東海大が制した。